

## ツマジロクサヨトウの発生範囲が早いペースで拡大！

ほ場等に発生がないか確認し、もし疑わしい幼虫を確認した場合、速やかに当所まで御連絡ください



ツマジロクサヨトウは、本年6月上旬の時点で、九州・沖縄地方だけでなく、山口県のスイートコーン及び三重県の飼料用とうもろこしの生産ほ場で発生が確認されています。またフェロモントラップでは、東北地方でも誘殺が確認されており、昨年よりも早く発生範囲が拡大しています。

## ツマジロクサヨトウについて

- ・南北アメリカで発生以降、アフリカ、アジアまで**発生範囲を拡大**
- ・アフリカでは、とうもろこしに甚大な被害
- ・日本では昨年7月に、**鹿児島で初めて発生を確認**以降、全国で確認事例が増加
- ・国内では**飼料用とうもろこしで多く発生**しているが、**スイートコーン及びソルガム**でも発生を確認。早期発見・早期防除が不可欠
- ・トウモロコシ以外に、イネ、カブ、キュウリ、ナス、サツマイモ等も食害

### 幼虫の食害による被害



幼虫が葉、茎、子実を食害

### 飛翔距離が長い、繁殖力が強い



- ・気流に乗って長距離移動する
- ・1回の産卵数は150~200個
- ・生涯産卵数は最大1000個

### 形態の特徴



- ・幼虫の頭部には網目模様があり、「逆Y字」に見える。
- ・幼虫の体長は、1.7~40mm

埼玉県中央家畜保健衛生所（さいたま市北区别所町 107-1）

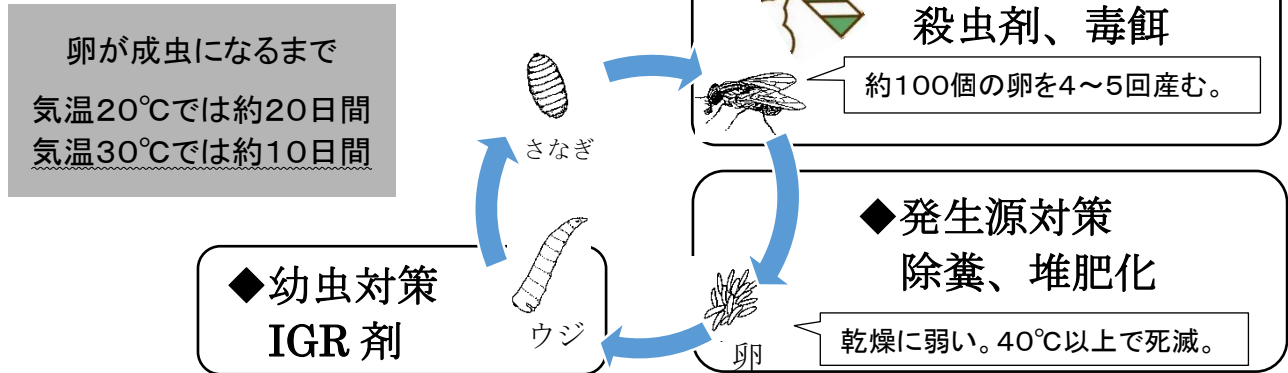
TEL:048-663-3071

（24時間、土日祝日も受付）

# ハエの発生対策を徹底しましょう！

ライフサイクルを断ち切ることを念頭に、効果的な対策を行いましょう。

## 【ハエのライフサイクルと対策】



## 【ハエの殺虫剤】 耐性予防には、別の主要グループに属する薬剤を選びましょう

対象	主要グループ	サブグループ	代表的な製品
ハエ成虫	アセチルコリンエステラーゼ阻害剤 (神経作用)	カーバメート系	ボルホ 50% サンマコー水和剤 バリゾン乳剤
		有機リン系	サフロチン乳剤 トヨダン乳剤 アルファクロン ネグホン散
	ナトリウムチャンネルモジュレーター (神経作用)	ピレスロイド系	金鳥ETB乳剤 金鳥スミスリン乳剤 スパレン乳剤 フタスミン バイオフィライ
	ニコチン性アセチルコリン受容体 競合的モジュレーター (神経作用)	ネオニコチノイド系	アジタ フラッシュベイト
合剤		有機リン系・ ピレスロイド系合剤	エスマック アルナックス スミロール
幼虫(ウジ)	幼若ホルモン類似剤 (生育調節:IGR 剤)	幼若ホルモン類縁体	アルトシッド10F
		ピリプロキシフェン	金鳥PPK粒剤 スミラブ粒剤 ラモスSG
	キチン生合成阻害剤(生育調節:IGR 剤)	ベンゾイル尿素系	デミリン水和剤
	脱皮阻害剤ハエ目昆虫 (生育調節:IGR 剤)		シロマジン
合剤		有機リン系・ピレスロ イド系 合剤	うじキラーカリユウ ワームサイド